

紹介	研究室・研究機関紹介(14)	
	農林水産省 草地試験場 土壤微生物研究室	
	小島知子.....	76
情報	第12回根研究集会のお知らせ.....	77
	第6回国際根研究学会シンポジウム開催のお知らせ.....	79
	カレンダー.....	80
	会告.....	83

会員の皆様へ

1. 研究会の方向性

去る5月23日に開催されました記念シンポジウム(詳細は67ページをご参照下さい)におきまして、根に関する研究の今後の発展方向に加え、本「研究会」の進むべき方向についての議論もありました。様々な意見がありましたが、根「を」研究する人、根「も」研究する人、根も研究「せざるをえない」人、自分では研究しないけれどどんな研究がされているかちょっと覗いてみたい人、など、この研究会に参加する動機は様々であり、そうした人々の緩い連合体である研究会という立場が重要であると、あらためて感じました。研究会の価値は、様々なニーズを持っている会員に対し、情報交換、議論・相互批判、共同研究チームの形成などの場をいかに効率よく提供できるか、にかかっていると考えさせられました。これを契機に、メーリングリストや会誌「根の研究」などでこうした議論が継続されることを願っています。この議論をしっかりとやるというのが私の公約でもありました。

なお、記念シンポジウムの内容につきましては、講演要旨は本号に掲載されていますが(68ページ)、これとは別に、きちっとした形で残して欲しいという要望が、シンポジウムを持つ前から会員より寄せられていました。このようなシンポジウムを行うと、常にその後の出版が経費との関連で問題になるわけですが、今回は養賢堂のご厚意により、論文として「農業および園芸」に掲載させていただくことになり、講演者の方々に執筆を依頼いたしました。農業および園芸における掲載号につきましては次号にてお知らせできると思います。

これに関連して、先号のこの欄でもお知らせしておりました第18期学術会議への登録について、必要書類を整え、5月末に申請しましたことをご報告申し上げます。この間、会員の皆さんより強い反対意見は寄せられず、一方、本誌の学術刊行物としての認定や、今後の研究会関連の種々の助成申請において有利に働く可能性等を考え、申請に踏み切りました。審査にはしばらく時間がかかるようですが、結果が出ましたら報告させていただきます。

準備の過程でもっともよく質問があったこととしまして、研究会と学会との関係があります。学術会議の登録団体になったとしても、それで自動的に学会になるわけではありません。本研究会は、「根研究会」として登録申請を出しましたので、名称はそのままです。本来、会の名称(研究会、学会、協会等)は、自分たちで決めることであって、学術会議とは関係ありません。

2. 研究会賞

今年度の推薦の締め切りは7月末日です。積極的なご推薦をお願いします。会員の皆さん全員でこの賞をかわいがり育てていただきたいと思います。選考結果は次号でお知らせします。詳細につきましては次ページをご覧ください。

3. 次期会長選挙

早いものでもう会長選挙をアナウンスする時期になりました。今年末をもって現執行部は任期満了となります。ふるって立候補をお願い申し上げます。詳細は次ページにあります。

4. 研究集会・総会

第11回研究集会、および今年度の総会が、5月22日に、大野智史さんを初めとする農業研究センターの方々にお世話になり、つくばアルスホールにおいて開催されました。本号に報告記事と講演要旨が掲載してありますのでご覧ください(46ページ)。またご出席いただけなかった会員の方々のために、総会資料も掲載しました。

また先号でもお知らせしましたように、次回の研究集会(第12回)を11月6日(土)に滋賀県立大学環境科学部において開催します。なお上記の研究会賞の受賞講演および授賞式もあわせて行います。詳細は77ページをご覧ください。

5. 第6回国際根研究学会シンポジウム

第7巻2号で組織委員会の発足をお知らせしていましたが、その後組織委員会が精力的に準備を進められまして、シンポジウムの大枠が決定しました(79ページ参照)。当初の予定から大きく変わった点としましては、第6回を予定していましたオランダでの開催がキャンセルされましたので、日本で開催されるのが第6回、またそれに伴い開催時期が2001年になりました。決定事項の詳細につきましては随時ホームページ上(<http://www.imicom.or.jp/~jsm/ism/>)でお知らせします。以前にも書きましたが、ホストである私たちにとって有益で、楽しめる会議にする、そして、日本の根の研究成果を世界に発信する機会として活用する、これが基本的なスタンスです。ぜひご意見等をお寄せ下さい。

6. 「根の研究の最前線2」の出版

「根の研究の最前線1」に続き「2」が、森田さんを中心にまとめられ、上記の第11回研究集会でデビューしました。これは、「農業および園芸(養賢堂発行)」に連載中の「植物の根に関する諸問題」のうち、1996年1月号から1998年12月号までに掲載された36回分をとりまとめたものです。売れ行きは「最前線1」と同様、たいへん好調で上記の第11回研究集会で初めて販売されたわけですが、そこで用意した分は完売しました。ご注文は事務局までお願いします(詳細は本号会告を参照して下さい)。

1999年6月 会長 山内 章